



黄ぶな

◆ 謂れ・由来

宇都宮を代表する縁起もので、もともとは新町の農家の副業として作られていた。

(由来については5ページを参照)

制作工程



木型に和紙を張り付けて、型をとる。乾いたら木型を取り出す。



ヒレを付け、にかわ ごふん 膠と胡粉を塗って白い下地を作る。



絵付けをする。



黄ぶなの目を付ける。

◆ 制作者 伝統工芸士 小川昌信さん



詳しくはこちらの動画を
ご覧ください

